

真田で楽しく！元気に！暮らしたい人のためのフリーペーパー

いきいき♪

真

田

生き生き ふるさと通信

第33号 2013年 6月15日発行【真田地域に全戸配布】



平成25年5月5日 和歌山県九度山町で開催された「紀州九度山〈真田まつり〉」に上田市無形民俗文化財の「三ツ頭獅子」(真田町本原旧上原区)の演舞が実現しました。

真田昌幸、幸村のゆかりの地、姉妹都市として交流の続いている九度山町と上田市の友好のため、真田町から10時間以上かけてやってきた保存会の皆さんは、日頃の練習の成果を見事にステージ披露されました。当然、帰りも10時間。到着したのは午前1時を過ぎていたとのこと。「三ツ頭獅子保存会」の皆さん、たいへんお疲れ様でした。





第4回 真田三代の活躍

常田 軍三

－ 真田三代の活躍 －

一、 真田家の先祖

(二) 先祖の出自^{しゅつじ}

④ 大塔(おおとう)合戦

真田家の先祖の出自(しゅつじ)(出どころのこと)については、これまでに二回にわたって書いてきました。復習しますと、一回目は「①土着の豪族説」と「②海野氏説」、二回目は「③大伴氏説(牧監説(もくげんせつ))」でした。いずれにしても、真田氏の出自は定かではないため、特定し難いというのが郷土史上の現状ですが、今のところ有力なのは、③の「大伴氏説」といえましょう。

馬の飼育の専門的集団であった大伴氏は、最初傍(そえ)陽(ひ)に居を構え、世代を経た後の世に、真田に移って、真田氏と称したのではないかと、考えられています。これは、角間集落の入口にある「日向(ひなた)畑(ばた)遺跡(いせき)」の存在を根拠として考えられる出自でしょう。

それはともかく、真田氏を称し、長い年月をかけて山家郷の有力地主に成長し、土豪としての力をたくわえていったのでしょ

さて、真田氏が歴史のうえに、その名が登場したのは、応(おう)永(えい)七年(一四〇〇年)今から六百年前のことでした。信濃の土豪たちが時の信濃の守護(しゅご)(室町(むろまち)幕府(ばくふ))の地方における長官)小笠原(おがさわら)長秀(ながひで)を都へ追い返すため、立ち上がった戦いです。この戦いは現長野市篠ノ井付近の戦いで、大塔(おおとう)合戦(がっせん)と呼ばれていますが、その土豪たちの中に真田地域出身の何人かの土豪が参加していました。

この戦いの模様を記した『大塔(だいとう)物語(ものがたり)』には実(さね)田(だ)氏、横尾氏、曲尾氏の苗字が記載されています。実田はおそらく真田氏の作者の書き間違いかもしれません。

いずれにしても、この著名な戦いに真田氏の祖先が参加していたことは間違いありませんし、真田地域を本拠地としていた真田氏は、文献上からもその実在が明確です。

(次号に続く)



我が家のペット自慢



「我が家の自慢のペット」では無く、眼光するどいダンディーなご主人とお料理上手な奥様の、居宅介護支援センターえん（常田）のお隣さんご夫婦の大事なご家族をご紹介します。

名前は「あっくん 10歳」好きなものはロールケーキ、嫌いなものは「犬」どうやら自分は犬とは思っていない様子です。あっくんは、血統書付の4代目ジャーマンシェパード。シェパードには観賞用と訓練用があり、あっくんは観賞用としてドイツからやって来ましたが、訓練用はあっくんよりやや小型で災害救助犬や警察犬、麻薬探知犬など特殊訓練を受けるほどの賢い犬種だそうです。

体重 42 kg あっくんお気に入りのソファに座る姿は貫禄そのもの。最高の犬種とご主人は絶賛。生後3か月くらいまでは一緒に寝起きして上手にしつけていらっしゃるようです。ご主人は、あっくんを犬と思った事が無く、子供と一緒に暮らしていると思っているそうです。息子さんの結婚式には赤い蝶ネクタイをつけて出席しました（写真）。



毎日朝夕1時間づつ河川敷のグラウンドで運動をさせていますが専用のワゴン車があり、あっくんは助手席が指定席。犬の嫌いなあっくんが、グラウンドで見つけて来たのが、えんの真向いのお宅の「りくくん」毎日あっくんのお宅で過ごしているそうです。犬嫌いなあっくんが唯一気の合う犬が、りくくんです（写真）。あっくんの本名は「アンディー」。えんの脇道が子供さんが多く通ります。近所の子供たちが「あっくん」と呼び始め今のあっくんになったそうです。10月12日のお誕生日は毎年ケーキでお祝いです。素敵なお夫婦のすてきなあっくんでした。



(望月祐子)





真田町の社長さん 第7回



手打ちうどん 江戸屋 西村 とよ子 さん

さて今回ご登場頂くのは、今企画初となる女性社長の「手打ちうどん 江戸屋」社長でいらっしゃる西村とよ子さんです。西村さんは、とてもすてきな笑顔の女性社長さんです。

江戸屋さんは、現在の場所曲尾区に開店し26年、すこし離れた場所にあった前店舗からですと28年になるそうです。お店は、地元出身であった旦那様が和食料理人をへて地元へ帰り奥様と一緒に店を開きたいと始められたそうです。

とても落ち着けるムードの店内は、お客様に「ホッ」として頂きたい、との想いで設計から関わったと言うシックな濃い茶系で統一され、床に至っては杭状に加工した木材を立てて並び揃えた、今だ「うき」など無い床材だそうです。

地元根付き、当時は地域の方の無尽にも利用される店になり、中には26年来の常連さんもいるそうです。



そんな折、旦那様が体調を崩し、一線をひかれた時、奥様であった社長が店のきりもりをまかされたのです。以来約15年、社長のこだわりは、粉をまとめた後、一晚寝かせるとあの独特な腰が生まれる、その麺にあわせるのは、やはりこだわりの自家製元たれ、江戸屋さんの企業秘密の一端を教えてくださいましたが、深い味わいはやはりお店で。今では連休ともなると、わざわざ長野市方面、さらに関東方面からのお客様もいると言う、さらにお客様の顔を見てからうどんを打つ、と言うスタイル、このため待ち時間は

少々頂くしかし打ち立ての味が楽しめます。その為、休日の混んだ時刻にもかかわらず遠方からのお客様が、40分待ちでも「待ちます」と言い店の外にまで行列が出来たことも。そんな江戸屋さんは今まで広告を出してはないとの事、口コミで広がり、ツイッター上にも登場するそうです。そんな社長のこれからの夢は、これまで社長が腱症炎になった時は、かわりにうどん打ちをし、いつも近くでささえてくれる若い従業員さん、ご両親、そして今はお嫁に行っている娘さんと共に「江戸屋」を盛りたてていく事だそうです。そしてこれからの季節おすすめが、揚げたて天ぷらが楽しめる天ざるうどんです



女性スタッフのお店です。お気軽にどうぞ！

定休日 木曜日 0268-75-3525



真田三代
戦国歴史
検定



第1回



真田三代 戦国歴史検定

2013年
7月14日
開催



真田昌幸

真田幸村(信繁)

真田幸隆

第1回 真田三代戦国歴史検定

開催地：東京／大阪／真田町（長野県上田市）

実施級：**東京・大阪会場** 3級 4,700円(税込)／2級 5,400円(税込) ※3級・2級併願：9,800円(税込)
真田町会場 3級 4,000円(税込)／2級 4,700円(税込)／1級 6,000円(税込)

※(真田町) 3級・2級併願：8,000円(税込) ※1級試験の受験には、上田市にて開催されていた「真田三代歴史検定」初級の合格が必要になります。

わが町のスター、真田三代のことを学ぶいい機会です。

インターネットでは練習問題も公開しています。

皆さんも検定を受けてみませんか。

定員になり次第受付を終了いたします。お早目に・・・

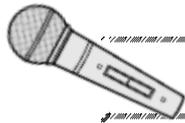
(詳しいことは)

真田三代戦国歴史検定運営事務局 (日本出版販売内)

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-3 新御茶ノ水ビルディング 16F

TEL 03-3233-4808 (土・日・祝日を除く)

インターネットでは「真田三代戦国歴史検定」で検索



気になる人にインタビュー

通勤途中に素敵なおじさんがいます。染谷浄水場脇の急坂、通称染谷坂を上りきった三叉路の横断歩道に立ち、通学途中の子供たちが事故無いうちを旗を持ち安全確認をしながら声を掛けています。

9年前より毎朝7:00頃から、「東小7年1組ふれあい見守り隊」のメンバーとして「地域の子供は地域で育てる」をモットーにボランティアとして活動しています。

「挨拶は基本」しかしこのご時世、知らない人に声を掛けられたら気を付けなさいとしつけられた子供もいるのか、挨拶の返らない子供も3.4年経つと「おはよう」と声が返ってくるそうです。熱い思いの長谷川忠雄さん（73才）、豊殿・神科・神川地域振興会の委員をされており、30名の地域の人たちと「安心の地域づくりセミナー」を開催し13年目。セミナー卒業生も300余名となり、卒業生が地域の施設にボランティア。地域の人が人の輪を広げ、地域で子供も育て、高齢者の為の地域づくりも行っています。現在2歳のお孫さんが小学校を卒業するまでは毎日続けたいと思っているそうです。地域の子供たちの為にいつまでもお元気に活躍して頂きたいと願っております。

通学路となっている勤務先の事務所の前の道路のゴミ拾いを毎朝していますが、毎朝私も気持ちの良い声掛けを子供たちにしようと誓ったインタビューでのひと時でした（望月）



お詫び

前回の「真田町の称徳碑を訪ねて」の文章に誤りがありました。次の通り訂正いたします。申し訳ありませんでした。

正	誤
本原村助役	本原村町役
若林康朗	若林康郎
平成元年に	平成5年に

編集後記

()

発行元：「真田 生き生きふるさと通信」編集部 事務局：高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ内
〒386-2201 上田市真田町長 7141-1 有線 2111
TEL 0268-72-2781 FAX 0268-61-4010 E-mail kejinfukushi@azarean.jp
ホームページ <http://www.azarean.jp>

イベント情報や、通信を読まれてのご意見、ご感想をお寄せください。次号は2013年8月15日の発行です。